

サステナビリティマネジメント

マルハニチログループは、『いまよりもっと「サステナブルな企業グループ」へ』進化していくことをめざし、「サステナビリティ長期ビジョン(2018～2027年度)」を策定しました。その長期ビジョン達成に向けて、2018年4月より「サステナビリティ中期経営計画(2018～2021年度)」をスタートさせています。中期経営計画では、重点課題(マテリアリティ)として以下の項目を掲げています。

マルハニチログループの重点課題(マテリアリティ)

「経済価値」の創造

売上高：1兆円／営業利益：310億円／ROA：5.7％／D/E レシオ：1.5倍／自己資本比率：30.0％

「社会価値」の創造

- お客さまへの価値** 安全・安心な食の提供／「消費者志向経営」の推進／「生涯健康計画」の推進
- 従業員への価値** 成長機会の提供／安全で働きやすい職場づくりの推進／ダイバーシティの推進と働き方改革の実施／健康経営の推進／人権の啓発推進
- お取引先への価値** 持続可能な調達の実践
- 地域・社会への価値** 地域社会との共存・共栄

「環境価値」の創造

地球温暖化対策 循環型社会の構築 海洋資源の保全

重点課題の特定プロセス

Step1 社会課題の認識

GRIスタンダード、ISO26000中核主題、国連グローバル・コンパクト10原則、SDGs(持続可能な開発目標)などの国際的な基準・ガイドラインを踏まえて、社会課題を洗い出しました。

Step2 社会課題のマッピング

次に、「社会視点での重要度」と「当社グループ視点での重要度」の2つを座標軸としてマッピングし、優先順位の高いものを絞り込みました(下図の赤枠)。

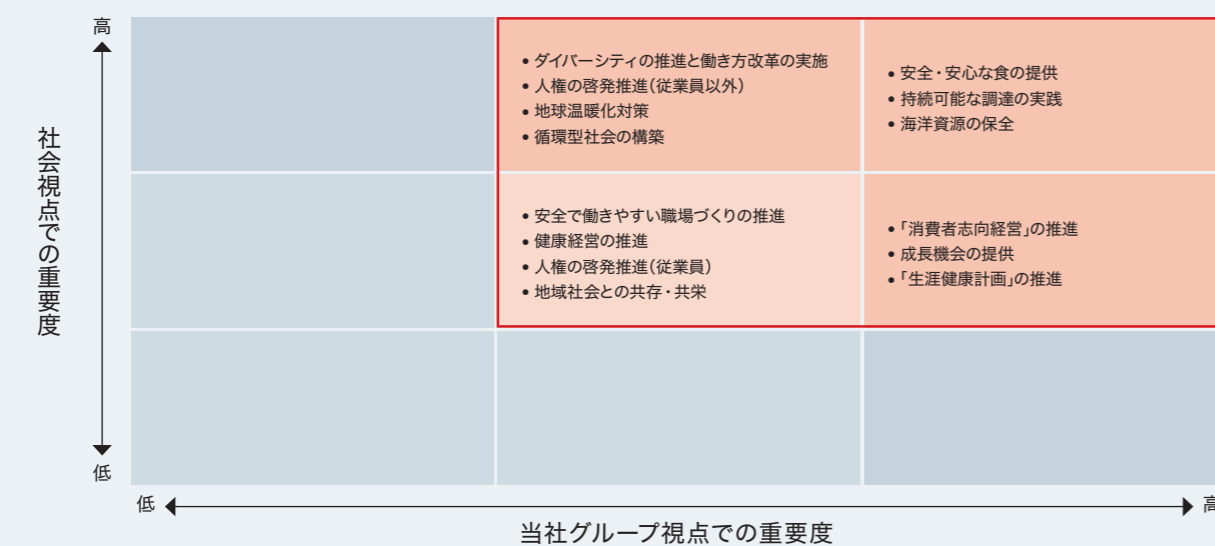
Step3 重点課題の決定

2018年2月、取締役会にて、重点課題を含むサステナビリティ中期経営計画が承認され、2018年4月より4ヵ年計画がスタートしました。

Step4 重点課題のPDCAマネジメント・見直し

2018年度は、サステナビリティ推進委員会における進捗状況の報告とレビューを行っています。今後はより具体的な取組み指標(KPI)の策定をめざして取組みを推進します。さらに、今後も国際的な社会課題の動向や、事業環境の変化、および社内外のステークホルダーの意見を取り入れながら、継続的な見直しを行っていきます。

マルハニチログループの重点課題のマッピング



サステナビリティ推進体制

マルハニチログループでは、2018年に新設した「サステナビリティ推進委員会」でグループサステナビリティ経営全般の企画立案や目標設定、およびグループ各社の活動を評価しています。

また、国際的な社会・環境問題の解決に向けた新たな取組みを議論し、マルハニチロ(株)の各部署およびグループ各社と連携して活動を推進しています。

サステナビリティ推進委員会の概要

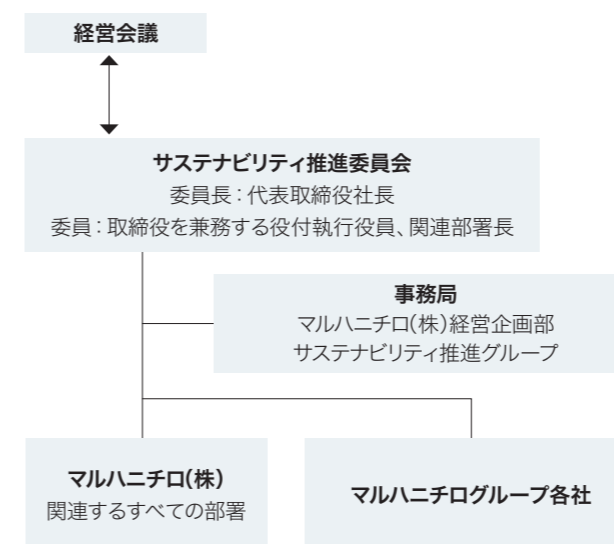
開催頻度：年2回(必要に応じ随時開催)

目的：グループ全体のサステナビリティ中期経営計画の進捗状況の検証と評価、課題と情報の共有

サステナビリティ推進委員会の主な議題

- サステナビリティ中期経営計画における前年度のレビューと今年度計画
- 統合報告書、サステナビリティレポート(WEBサイト)等の情報開示に関する議論
- 個別課題に対するグループとしての対応

マルハニチログループサステナビリティ推進体制図



教育・研修

サステナビリティ推進に向けた主な教育・研修の機会として、「グループ理念研修」および「環境責任者・担当者会議」を実施しています。

グループ理念研修は、マルハニチロ(株)経営陣自らが講師を務め、「マルハニチログループの社会における使命と責任とは何か」「日々の業務においてグループ理念を実践するためには」等のテーマについて、従業員が再認識する機会としています。2018年度は、グループ理念に加えてサステナビリティ中期経営計画を重点的に共有し、40拠点約4,700名のグループ従業員が受講しました。グループ一丸となり中期経営計画達成に向かって進んでいくための意識のベクトル合わせを行いました。

また、マルハニチロ(株)の各部署およびグループ各社に配置している環境責任者・担当者に対しては、毎年環境責任者・担当者会議として集合研修を実施しています。例年、環境経営計画の取組み、環境関連の規程類の確認、環境法令違反リスク低減のための環境法令遵守活動などについて共有してきましたが、2019年度は、新たに外部講師を招いたサステナビリティ経営に関する講義を盛り込み、サステナビリティ推進に向けた一層の意識の向上を図りました。

イニシアティブへの参画

マルハニチログループの持つ幅広いバリューチェーン上には、単一企業、民間セクターのみでは解決できないサステナビリティ課題が多く存在していることが懸念されます。包括的な取組み推進のためには、同業他社や行政、科学者、NPO/NGOsとの協働が不可欠であると考えており、マルハニチログループは、国連グローバル・コンパクト^{※1}やSeaBOS^{※2}など、国内外のさまざまなイニシアティブへ自主的に参画しています。

※1 国連グローバル・コンパクト：国連に創設された、各企業・団体が持続可能な成長を実現するための自発的な枠組みづくりのためのイニシアティブ。
※2 Seafood Business for Ocean Stewardshipの略。詳しくはP.57をご覧ください。



※1 国連グローバル・コンパクト：国連に創設された、各企業・団体が持続可能な成長を実現するための自発的な枠組みづくりのためのイニシアティブ。
※2 Seafood Business for Ocean Stewardshipの略。詳しくはP.57をご覧ください。